

丹波市特別職報酬等審議会（第4回）記録〈要点記録〉

○日時 令和6年6月17日（月）13：30-14：30

○場所 氷上住民センター つどいの間

○出席者

・委員

大野委員長、中道職務代理者、田口委員、森田委員、菊本委員、長井委員
石塚委員、常石委員（欠席）、相根委員（欠席）、足立委員（欠席）

・事務局

岡林総務部長、柳田職員課長、上田参事、余田副課長

1 開会

2 会長あいさつ

前回も活発な意見をいただいた。立場により意見の食い違いもあったようにも感じる。ただ、審議ばかりして結論がでないということではいけない。

本日、前回いただいた各委員の意見をもとに資料を用意したので新たな見方から議論したい。

3 丹波市特別職報酬等審議会に関する傍聴規程第4条にかかる報告

傍聴者 0人

4 議事

・事務局が第3回の要点記録について説明、確認。

・各委員の意見を反映した資料（資料22-1、22-2、資料23-1、23-2）について説明。

○資料に関する質問 なし

○各委員の意見

委員 今回の資料で総支給額が見え、以前から言っていた年収ベースで比較しやすくなった。これを見ると丹波市は低くはないと思います。

これに退職金を足すと1800万近い年間支給額になるので、給料や報酬は、現状維持が妥当ではないでしょうか。

委員 これまでの議論を踏まえ、資料には近隣の養父市、朝来市を加え、もともと市だった市などは類似団体だったとしても違いがあることから

外されている。資料は非常に整理されていて、丹波市の状況が良く分かり、方向性を検討しやすくなった。

この表を見ると、手当を職員にあわせるのは無いとして、先ほど総支給額で遜色ないと言われたが、議長、副議長、議員などそれぞれ報酬の割合が異なります。そのため、一律に判断するのではなく、役職ごとに1つ1つ議論しても良いのではと思います。

委員 給料のベースアップはないのかなと思います。期末手当に関しては、民間の状況を踏まえた人事院勧告を反映する職員と同じ率にする可能性は十分にあると思う。上がる時は上がるけれど、下がる時は下がるとなると、市民に対して説明しやすい方法かもしれません。

事務局 今回の資料は、第3回審議会での各委員のご意見を踏まえて作成しました。まず、報酬を上げてはという意見がありましたので、報酬を2%から10%に順次上げていくとどうなるかという資料を用意しました。

また、類似団体には神戸に近く地域手当もある自治体もあり、丹波市と比較するのはどうかというご意見もありましたので、人口規模や財政規模だけでなく合併の有無を踏まえ、近隣自治体で比較しました。さらに財政収支見通しなど明るい見通しばかりではありませんので、ベースアップを図るのではなく、人事院勧告により毎年社会情勢を反映した率になる常勤職員の期末手当に合わせた場合の資料を作成しました。

委員長 本俸を据置き、手当を常勤職員に合わせておくことで、審議会を開かずとも人勧により社会情勢に合わせて変動できるという点があります。また先ほど言われたように役職別に判断するという意見もあります。

委員 人勧がでたときに議員・特別職も連動するようにしておくの良いと思います。ただ、役職別に個々に比較、検討するのは難しいのではないのでしょうか。

委員長 議会の議論で副委員長の区分がなくなったのはどのような経緯でしょうか。

事務局 資料10の13ページにあるように、区分を設けている自治体が少ないことから副委員長の水準は廃止するとされました。

委員 期末手当は議員と職員でもととは差があったのですか。

事務局 合併当初は同じ率でしたが、職員は人勧をもとに毎年変動するのに対し、資料9ページにあるように、議員・特別職は合併当初の率からなかなか変動しませんでした。現在の率は、改定当時の人勧の率に合わせた率です。他市の4.5月という率も常勤の期末・勤勉手当の率を反映させた率で、独自の率を使われている近隣自治体は少ないと思います。

委員 年収ベースで考えると、報酬は変えなくて良いと思います。変えるなら期末手当を合わせるのが良いと思います。

委員長 方向性が見えてきたように思います。報酬は平成29年と比較して横ばいの自治体が多いですが、期末手当の割合は4.5月や4.3月になって

おり、丹波市は据置かれています。人勧によってそれぞれの年の背景を反映するという答申にすれば良いと思いますがいかがでしょうか。

委員長 意見はありませんか。意見がなければ報酬、給料は据置き、期末手当は職員にあわせてはどうかという方向性で答申を考えて、次回、答申内容の確認ができたらと思いますがどうでしょうか。

委員 答申には、率が下がる場合もあるという意味で、人勧に連動させるような文言を入れてください。

事務局 附帯意見に入れることはできると思います。

委員長 ではその方向で答申案を作成します。

委員 期末手当の率を人勧に合わせるとなると、本俸を上げる以上の金額になってしまうことは承知しておく必要があります。

委員長 それでは次回、答申案をもとに意見を伺いたいと思います。

審議終了

次回 7月1日(月) 13:30～ 氷上住民センター つどいの間